地域のみんなで子育て支援

ちびっこ広場「はとぽっぽ」

５月12日飯島南児童センター、５月19日飯島児童センター両会場での開講式から、今年度もちびっこ広場「はとぽっぽ」の活動がスタートしました。

保健師さんによる身体測定・講話、簡単な工作、親子ビクスの年間の行事の他、毎回、ままごと・ブロック・ボールなど、さまざまな遊びを楽しんでいます。

年度途中の参加もいつでも受け付けています。
直接会場においでください。

これからの主な活動予定

★飯島児童センター（毎月第１・第３火曜日）
10月20日　合同運動会
11月17日　出前保育（子ども未来センター）
12月15日　クリスマス会

★飯島南児童センター（毎月第２・第４火曜日）
10月27日　わらべ唄の宝箱（今野ひろ子先生）
11月10日　親子ビクス
12月22日　クリスマス会（子ども未来センター）

午前10：00～11：30

秋田市地域子育て支援ネットワーク事業

昨年10月にスタートした北部地域子育てネットワーク連絡会が、子育て支援イベントを開催します。

北部地域の親子に贈る　**北部地域みんなで遊ぼう広場**

10月12日(月)祝日 10時～正午　♪セリオンプラザ多目的ホールであそぼ♪

参加無料

☆親子でコーナー遊びを楽しもう
☆親子レクリエーション

手遊び　ダンス　製作コーナー　絵本

●当日会場に直接おいでください
●対　象：未就学児と保護者
●持ち物：必要に応じて飲み物など

主　催：北部地域子育て支援ネットワーク連絡会
協　力：秋田市子ども未来センター　TEL.887−5340

〈事 務 局〉秋田市飯島松根東町５－22　飯島地区コミュニティーセンター内
飯島地区社会福祉協議会　ＴＥＬ８４５－１７３１
〈編集委員〉長谷川瑞子・加藤武美・筒井英水・太田敏子・椎川保子・保坂徳勝・舩木新悦・柴田紀子・荒川淳子・保坂美穂子・千蒲久義
〈発 行 日〉平成21年８月31日（№19　全世帯配布）

飯島地区
25町内
5,836世帯
16,297名
H21.8.1現在

飯島の福祉

いいじまのふくし

飯島の福祉　No.19
飯島地区社会福祉協議会
平成21年８月31日発行

～誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で～

飯島の福祉　今年度の重点活動

1 地区福祉環境の充実
住民総参加で支えあい、助け合うまちづくりの実現

（1）敬老者（満75才以上）への支援
満90才へ祝金贈呈

（2）民生児童委員・福祉協力員の連携
地区社協、町内会長会との合同で、それぞれの果たす役割について学習し、地域の福祉課題を把握する。

（3）各町内福祉活動への支援
災害時において、ひとりも見のがさない支援活動がスムーズにできるように、研修会等を実施する。

（4）健康づくり・生きがいづくり・高齢者交流会
地区各団体との共催で実施する。

2 介助支援対象者対策
向こう三軒両どなりの助けあい活動

（1）高齢者ひとり暮らしの見守りネットワークの充実

（2）安心、安全箱の配布（対象：80才以上のひとり暮らし）

（3）ふれあい弁当の配布（75才以上のひとり暮らし）

（4）友愛訪問・安否確認
ティッシュ、尿取りパット配布

3 子育て支援活動
将来を担う子ども達への支援活動

（1）ちびっこ広場、児童センターの子育て事業への支援

（2）町内子ども会への支援

（3）民生児童委員を中心に、学校と連絡をとり「あいさつ」「声かけ運動」を広める

4 機関誌・広報紙の発行

（1）飯島の福祉（広報誌年2回）の発行

（2）いいじまの街（機関誌年1回）の発行
各種団体との共催で、それぞれの団体活動をPR

5 各種募金活動への協力

地区福祉活動の基金は各種募金によって支えられています。赤十字、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金にご協力をお願いします。

6 地域クリーンアップ実施

新城川、堀川砂防林、国道7号線等のクリーンアップ

秋田市社会福祉協議会
21.9.10
受付

飯島地区社会福祉協議会・合同研修会

平成21年 飯島地区ワークショップ

と　き：平成21年8月22日（土）午前10時～12時
場　所：飯島地区コミュニティーセンター

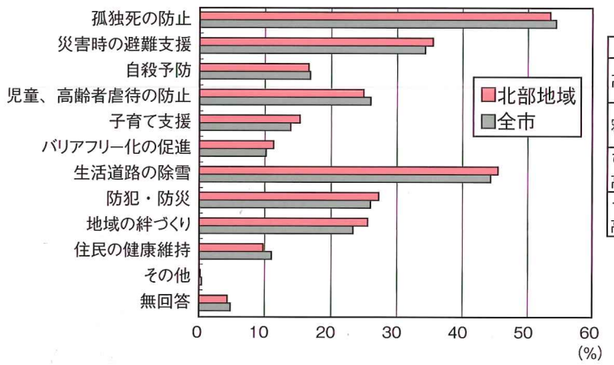
テーマ　誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で

●研修会テーマの主旨、現状説明

「第２次秋田市地域福祉計画重点事業（飯島地区）」について

秋田市福祉保健部福祉総務課地域推進室	室　長	秋山尚子様
〃	主　査	金田真裕様
〃	主　査	牧野悌子様
秋田市社会福祉協議会	事務局長	大塚妙子様
〃	主　査	石井　誠様

地域社会の関わりにより改善できること



（平成19年　地域福祉意識調査より）

秋田市の在宅寝たきり・ひとり暮らし高齢者の推移

（単位：人）

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
高齢者人口	63,320	70,371	71,950	73,746	75,425
寝たきり高齢者	407	463	390	511	413
ひとり暮らし高齢者	6,758	7,271	7,484	8,620	8,616
その他要支援高齢者				1,751	2,743

●研修テーマの提案発表

Ⅰ．「ひとり暮らし高齢者等が地域でお互いに支え合って暮らせるために、地域ができることは何か」

２人の民生児童委員（南新町担当・松園担当）より見守りネットワークから見られた現状とそれを解決するためには、何をしたら良いのかについて発表がありました。

Ⅱ．「災害時みんなが避難できるために、地域ができることは何か」

２人の町内会長（駅前町内会・長野町内会）より災害時避難支援について取り組方法および、防災組織の現状等について報告されました。

第2部

14：45～15：30

「漫談」アカデミック漫談師 人星亭喜楽駄朗
～日々の生活に笑いを…～

“人生気楽に生きましょう”に始まり、食前の一笑運動や色々な勘違いの事例をあげ、会場が盛り上がりました。
なお、人生八掛であまり肩肘はらず気楽に暮らそう‼

笑い　幸せ　健康　人生　夫婦
家族　子育て　高齢者　人間関係
をおもしろおかしく…

いちごいちえ
一期一笑
年取ったら
笑ってごまかそう
まちがえましょう
はりきって

主催：飯島地区社会福祉協議会
共催：飯島地区町内会連合会・市民憲章推進協議会
　　保健推進委員会・老人クラブ連合会・振興協議会

●分科会の開催について

A.「ひとり暮らし高齢者等が地域でお互いに支え合って暮らせるために、地域ができることは何か」

○具体的な行動の例としては、現在80歳以上のひとり暮らしの方へ配っている「安心箱」に加えて、65歳以上のひとり暮らしの方に「救急安心カード」を作成し（A４版）、台所等、目のとどくところに貼ってもらい見守りネットワークの一助として活用している。（同データは三部作成し、本人、民生委員、福祉協力員が保管している。）

○町内会、民生委員、福祉協力員の懇談会が必要（組織上）向こう三軒両隣りで声を掛け合うことが大事である。

○現在自分の町内と他町内を担当している民生委員は各町内会長に会う機会が少なくスムーズに対応するのが難しい状況。

B.「災害時みんなが避難できるために、地域ができることは何か」

○飯島地区では、25町内に対し防災組織率は60%。

○具体的な活動報告（長野町内会）

町内540世帯に対し民生児童委員３名、福祉協力員４名。組織の中に「防災福祉部」があり、介助支援名簿を提供してもらい、支援マップを作っている。要支援者に対しては、担当が決まっており、月１回見廻りをし、名簿に載っていないが万一の場合、支援を必要とする高齢者のひとり暮らし、高齢者だけの世帯を確認把握し、町内独自の「介助支援名簿」に載せ、あわせて防災マップに色別に添付する。

年度毎に役員が変わってもそのまま引き継ぐ事になっておりマニュアルも出来ている。

○日頃より情報を集め、交流の場を作る。

○訪問する時は「防災組織」の腕章をつける。

○いざという時はやっぱり「向こう三軒両隣り」の心で。

第4回 健康づくり・生きがいづくり高齢者交流会

と　き　平成21年8月22日（土）13：30～15：30
ところ　飯島地区コミュニティーセンター体育館

第1部

13：30～14：30

「演劇」河辺わさび座
2009年家族の絆　～老いを迎えて～

軽く脳梗塞を患っている祖父一郎。一郎を介護してくれている祖母のシズが、言動におかしな所が見え始め失踪事件（認知症）を起こす。息子夫婦、近くに住む娘に二人の介護という厳しい現実がのしかかってくる。壊れそうになる家庭、そこで、家族の絆、周囲の援助、介護、支援が「助け上手」「助けられ上手」で乗りきっていくという、笑いの中にも、ほろりとさせられ、涙を誘われる場面もありました。家庭、家族のあり方が問われている現在、自分を見つめ直すよい機会に恵まれ、感動をあじわった１日でした。